

Bonjour

ボンジュール!!

2017年
2月23日号

Vol.345



「資源」の時代が来る！？

● 原油価格の安定化

2014年半ば以降下落基調にあった原油価格は、2016年2月につけた1バレル26ドル台を底に足元では50ドル台前半で推移し、安定化の兆しがみられます。

2016年11月以降OPEC加盟国や非加盟国の主要産油国において減産合意がなされ、今年に入って実際に履行されていることが確認されています。また、中国の2016年10-12月期の実質GDP成長率が前年同期比+6.8%と予想を上回る結果となり、中国経済の安定化が期待されています。

● 原油だけじゃない

実は、価格が上昇しているのは原油だけではありません。鉄鉱石価格は、この1年で約2倍に急騰しました。中国では不動産開発が堅調で、鉄道など公共投資案件が多く、1月の鉄鉱石輸入量は前年同月比12%増加しました。

また銅価格も反発しています。中国の経済刺激策や今年に入って世界最大級の銅鉱山の2つでトラブルが生じ市場での供給量が減少したことなどが価格上昇に寄与しました。

さらに資源価格の追い風になるのが、米国のトランプ政権が公約に掲げるインフラ投資拡大です。資源需要の高まりを通じた資源価格の下支えが期待されています。

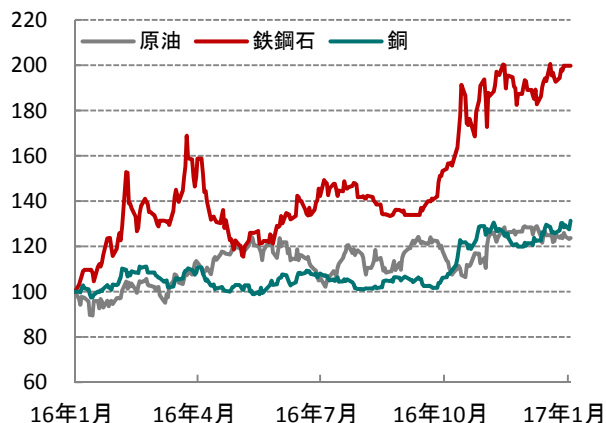
● 資源国の多くは新興国

資源価格の安定化は、資源の輸出に頼る資源国経済にとってプラスの効果をもたらすことは言うまでもありません。新興国の中にも多くの資源国があることを考えると、新興国株式・債券に対する投資家心理の改善にもうなずけます。

資源価格に安定化の兆しが見られる今、新興国投資を考えるタイミングかもしれません。まだまだ成長途中の新興国へ投資するなら、特に長期分散投資のスタンスが望ましいですね。

■ 主な資源価格の騰落率

(日次、ドルベース、2016年1月末=100として指数化、
期間:2016年1月末~2017年1月末)



※鉄鉱石:中国青島に荷揚げされる鉄鉱石(鉄分62%)の価格、
銅:LME銅先物、原油:WTI原油先物
出所:ブルームバーグのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。